

歩行空間ネットワークデータ整備実証について

令和7年3月
政策統括官付

ほこナビDPシステムを用いた実証について



昨年度構築したほこナビDPプロトタイプシステムを用いて、歩行空間ネットワークデータ(NWデータ)の整備・更新及び3次元地図の整備の実証を行い、システムの機能性や操作性の確認を行うことで、システムの運用方法の検討やシステム改良点を把握する。

実証①:
ランク設定によるNW
データ整備実証

自動生成した形状データ※と、簡易計測により収集するバリア
(段差・縦断勾配・幅員)情報を用いて、NWデータ整備仕様
(2024年7月版)に基づいたNWデータ整備実証

※バリア情報を含まない歩行空間のネットワークデータ(旧:針金データ)

実証②:
走行軌跡データ等を用い
たNWデータ整備実証

スマートフォンで収集した走行軌跡データ等を用いた、NWデー
タの整備実証

実証③:
3次元地図整備実証

自治体保有の3次元点群データと、ハンディ型LiDARやスマー
トフォンを用いて取得する3次元点群データの統合と管理によ
る3次元地図整備実証

3次元地図WGで報告済み

プロトタイプを構築したNWデータ整備システム(2D・3D)を用いて、NWデータ整備仕様(2024年7月版)に基づいた、ランク設定によるNWデータの整備実証を実施。

実施概要

目的	NWデータ整備システム(2D・3D)の実運用に向けて、NWデータ整備仕様(2024年7月版)に基づいたデータ整備実証を行い、システムの改良点や運用面の課題を整理
実施事項	以下の項目について検証 ・NWデータ整備システム(3D)を用いた、形状データの自動生成 ・NWデータ整備システム(2D)を用いた、自治体職員によるデータ整備 * 現地調査でのバリア情報(段差・縦断勾配・幅員)の収集を合わせて実施
場所	東京都渋谷区
時期	11月21日(木)13時～

検証事項(実証イメージ)

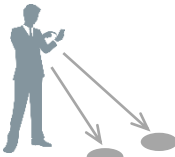
■形状データの自動生成



・国土地理院の基盤地図情報の歩車道の情報を基に、形状データを自動生成。

NWデータ整備システム(3D)による自動生成処理

■NWデータ整備(現地実証)



現地調査



・現地調査で確認する段差・縦断勾配・幅員の結果を基に、形状データに「ランク区分」を入力

* 自動生成した形状データの整形、修正を合わせて実施

NWデータ整備システム(2D)を用いた手動によるデータ整備

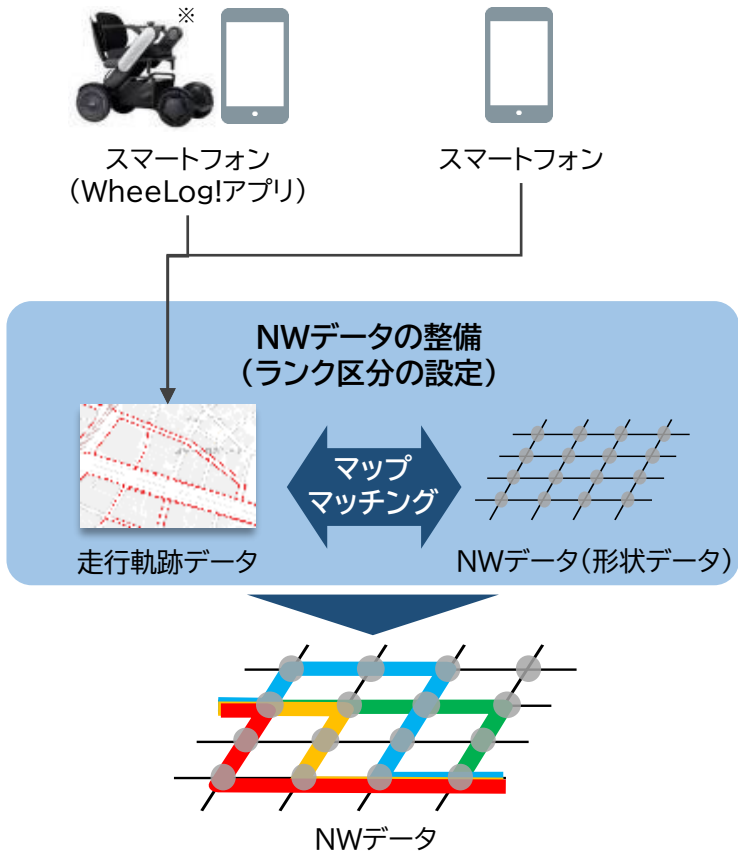


プロトタイプを構築したNWデータ整備システム(3D)等を用いて、スマートフォンで収集した走行軌跡データ等を用いて、NWデータの整備実証を実施。

実施概要

目的	走行軌跡データ等を用いたNWデータ整備に関する技術検証を実施し、NWデータ整備における課題や留意点等を整理。
実施事項	•WheelLog!アプリで生成する車椅子の走行軌跡データを収集。 •スマートフォンを持った現地歩行による軌跡データの収集、後に実施するマップマッチングの検証のため、歩行経路の記録も実施。 •収集した軌跡データと、NWデータ(形状データ)のマップマッチングを実施。
場所	神奈川県横須賀市
時期	10月～12月

検証事項(実証イメージ)

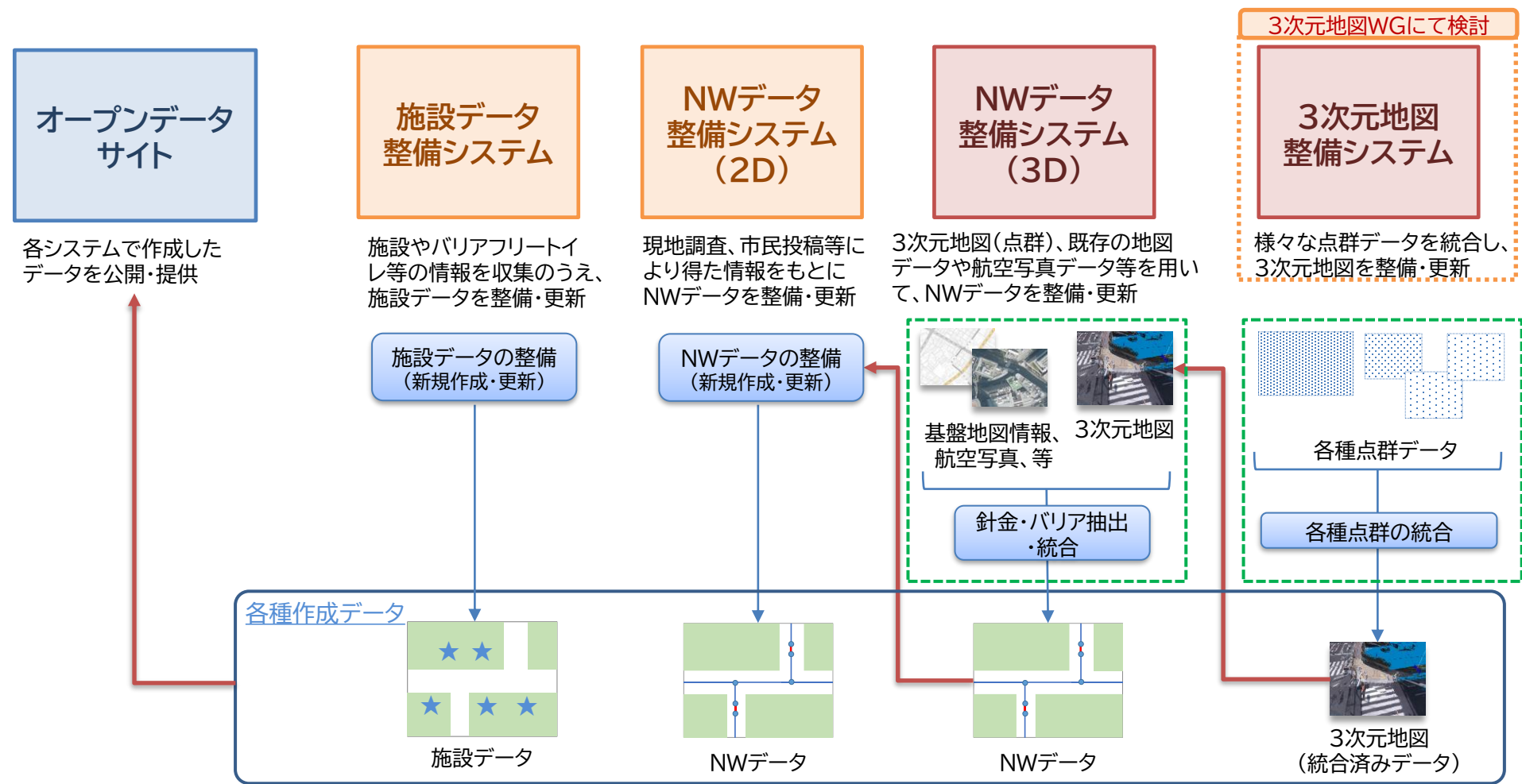


※ 出典(<https://jp-store.whill.inc/model-c2-all.html>)

(参考)ほこナビDPの構成



ほこナビDPは、歩行空間ネットワークデータ(NWデータ)、施設データおよび3次元地図を整備するシステムで構成予定。3次元地図整備システムで統合処理されたデータは、NWデータ整備システム(3D)でも活用できるように構成し、プログラム処理によりNWデータを整備する際の元データとしても用いる。また、NWデータ整備システム(3D)で作成されたNWデータは、NWデータ整備システム(2D)でも活用できるように構成し、適宜更新を実施できるようにする。



プログラム処理でデータを作成の上、必要に応じて手動操作によるデータの編集を実施する。